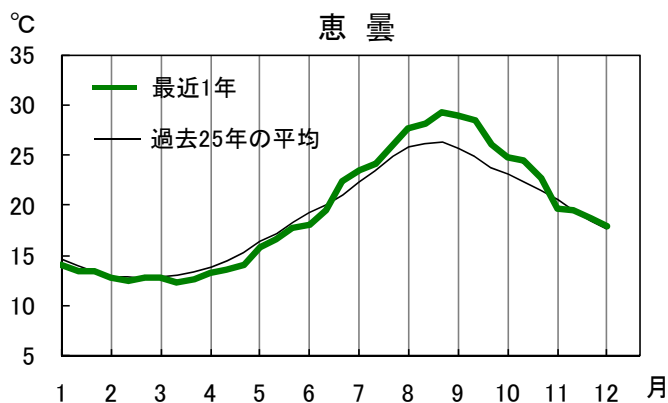
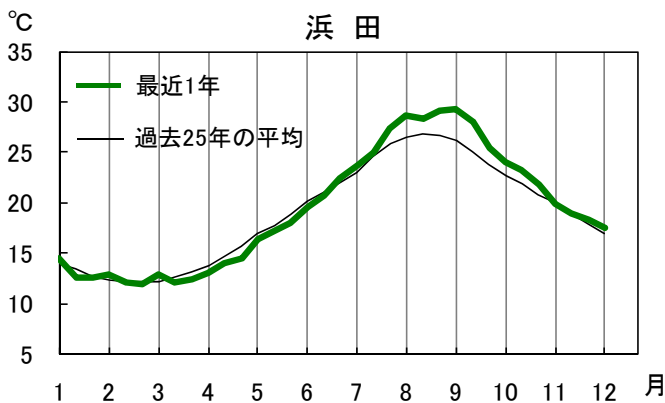




《11～12月の海況》

11月	月平均	平年差	評価
浜田	19.1℃	+0.1℃	平年並み
恵曇	19.3℃	-0.2℃	平年並み

沿岸定地水温は、11月は浜田地区では中旬以降「平年並み」が続き、恵曇地区では11月上旬は「やや低め」でしたが、中旬以降は「平年並み」が続きました。12月に入り両地区とも引き続き「平年並み」で経過しています。



《11月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区、西郷地区および浦郷地区ともマアジ、サバ類主体の漁況でした。どの地区もマアジが好調で、平年の1.6～1.8倍の漁獲量でした。また、9月～11月（秋漁）の漁獲量は1万2千トンを超え、不振であった今春から一転し、平年を上回る好漁となりました。一方、サバ類は平年並みでしたが、主漁期にあたる9月以降の漁獲量は5千トン程度で、平年の75%に留まっています。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではケンサキイカ主体（全体の98%）の漁況が続き、その漁獲量は平年の3.5倍と好調であったため、総漁獲量は平年の3.2倍でした。西郷地区（属人5トン以上）ではソデイカ、ケンサキイカ主体の漁況でした。それらの漁獲量は平年を下回ったことに加え、スルメイカの水揚げが皆無であったため、総漁獲量は平年の2割と低調でした。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではムシガレイ、ソウハチ主体の漁況で、1統1航海当たり漁獲量は15.4トン、前年・平年（過去10年平均）を約2割上回りました。その中でも、ソウハチは平年の2倍、ケンサキイカは平年の3.7倍の漁獲があり、好調に推移しました。一方、アンコウ、アカムツ、ヤナギムシガレイは、平年の8～9割の水揚げに止まりました。

【小型底びき網漁業】

和江地区ではソウハチ、キダイ、久手地区ではアンコウ、ソウハチ主体の漁況でした。1隻1航海当たりの漁獲量は、両地区とも平年、前年を2割～4割上回り、好調に推移しました。両地区とも、ソウハチがまとまり始め、和江地区では平年の1.9倍の水揚げがありました。このほか、アンコウ、キダイ、ニギスも好調に推移し、平年の1.3～1.9倍の水揚げがありました。

【定置網漁業】

石見地区ではブリ、マアジ主体の漁況で、1統当りの漁獲量はブリが前年の2.1倍、マアジが前年の2倍と好調で、全統の総漁獲量は前年の2.3倍でした。出雲地区ではブリ主体の漁況で、1統当りの漁獲量はブリが平年の2.8倍と好調で、全統の総漁獲量は平年の1.7倍となりました。隠岐地区ではブリ、マアジ、カワハギ類主体の漁況で、1統当りの漁獲量はブリが平年の7割と低調でしたが、マアジが平年の1.3倍、カワハギ類が平年の1.2倍と好調で、全統の総漁獲量は平年の1.3倍となりました。

【釣・縄】

石見地区ではケンサキイカ、クロマグロ、メダイが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は30kgで平年を上回りました。出雲地区ではケンサキイカ、ブリ、クロマグロが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は32kgで平年並みでした。隠岐地区ではクロマグロ、ケンサキイカ、メダイが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は28kgで平年を上回りました。この時期、幼魚期のヨコワが主体となるクロマグロは、昨年、不漁であった隠岐地区では前年を大きく上回り、石見・出雲地区では逆に前年を下回りました。

【平成 22 年 11 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	マアジ、サバ類	465 トン	189%	131%	20.2 トン	214%	129%	◎
	西郷	マアジ、サバ類	6,788 トン	134%	130%	83.8 トン	124%	112%	◎
	浦郷	マアジ、サバ類	3,626 トン	112%	118%	59.4 トン	99%	103%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	75 トン	404%	322%	197 kg	228%	189%	◎
	西郷	ソデイカ、ケンサキイカ	4 トン	94%	23%	91 kg	161%	35%	○
沖合 底びき網	浜田	ムシガレイ、ソウハチ	339 トン	103%	102%	15.4 トン	122%	118%	◎
小型 底びき網	久手	アンコウ、ソウハチ	231 トン	120%	122%	918 kg	120%	126%	◎
	和江	ソウハチ、キダイ	382 トン	135%	138%	1,124 kg	145%	142%	◎
定置網 (大型)	浜田	ブリ・サワラ類	21 トン	394%	256%	1,314 kg	172%	207%	◎
	美保関	ブリ	160 トン	148%	168%	1,744 kg	121%	152%	◎
	浦郷	マアジ	18 トン	131%	157%	738 kg	115%	163%	◎
釣り・縄	仁摩	ケンサキイカ、クロマグロ、メダイ	24 トン	68%	106%	45 kg	80%	122%	○
	大社	クロマグロ、ブリ	15 トン	48%	59%	42 kg	71%	90%	○
	西郷	ソデイカ、メダイ、ケンサキイカ	19 トン	142%	179%	24 kg	57%	64%	▲

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下